

道闕君

藤原姓 高七拾俵三人扶持
近藤 家紋 下り藤ノ丸
鹿ノ角

大織冠鎌足の後胤鎮守府將軍秀
郷五代近江掾修行曾孫近藤武者所
景頼十三代庄三郎某男

某

近藤助藏

道闕君へ召出され三州綱嶋十八騎の内其後

東照宮へ奉仕遠州高天神御陣の時鎗疵三

ケ所手負之時

東照宮御手自御薬を神谷弥五助を以賜はる

○関^ケ原御陣供奉御帰陣の後伏見に

をいて死す

某

近藤助藏

東照宮関東御入國の刻供奉

台徳院殿御代本多上総介支配になり三州

綱嶋十八騎の内○正保二酉年死す

某

近藤善右衛門

慶安四^外年

常憲院殿三の丸御移徒の時先祖数代三河

以来奉仕之筋目を以御徒へ召出さる○

万治三^子年御徒目付○天和元酉年

西丸御廣敷添番○同三^亥年西丸附

一同小普請○貞享二丑年九月四日死す

駒込勝林寺に葬る

以下略